

専攻科海事システム工学専攻

■就職先
国土交通省船舶検査官、新日本検定協会、東亜合成株

商船学科

■就職先
㈱朝日工業社、上野トランステック株、㈱宇徳、NSユナイテッド海運株、オーシャントランス株、鹿児島船舶株、ケイヒン株、佐渡汽船シップマネジメント株、新日本海サービス株、新日本海フェリー株、大光船舶株、東幸海運株、日本海運株、日本通運株、日本郵船株、㈱日立ビルシステム、福寿船舶株、北星海運株、ヤンマーエンジニアリング株、㈱ユニエックスNCT、YKK株

■進学先
東京海洋大学海洋工学部、神戸大学海事科学部、長岡技術科学大学工学部、富山高等専門学校専攻科



1年 新入生合宿



5年半の思い出



4年 洋上救命講習



3年 カッターレース大会



6年 乗船実習

■ 新任教員あいさつ



あらためて、言葉の大切さ

一般教養科(国語)

久保陽子先生

4月に新任教員の挨拶を放送で、声だけで行いました。思えばこの数か月は、声＝言葉の大切さを身に染みて感じる日々でした。遠隔授業では、画面越しに聞こえてくる声や、オンライン上で提出されるレポート＝言葉を通して、まだ会ったことのない高専生に想いをめぐらせました。対面授業に入り、マスクで顔の半分は隠れているものの、マスク越しの声から伝わる学生のひたむきさや明るさにたくさん元気をもらいました。

私は演劇を専門としています。演劇は登場人物のセリフで構成されています。セリフの積み重ねによって喜劇にも悲劇にも転じます。また名台詞といわれる言葉には、時に人生や世界とつり合うような魔力があります。自分の口から発せられる一言によって、ドラマはいかようにも変わるので、ですから、言葉をたくさんストックし、それを自分や他人のために、なるべく良い方向へ使ってほしいと思っています。良い言葉と、良い高専生活を！どうぞよろしくお願いします。



よろしくお願いします

一般教養科(体育)

中村祐太郎先生

今年度より赴任しました一般教養科(体育)の中村です。スポーツが持つ楽しさや素晴らしさを皆さんにお伝えできればと思います。人生100年時代を迎え、歳をとっても元気でいられるようにするためには日々の運動がとても重要です。近年問題視されているロコモティブシンドロームという運動器の障害などで将来体の機能が衰えないよう、若いうちから運動を習慣化させ、健康寿命を延ばしましょう。運動が得意な人、苦手な人それぞれいるかと思いますが、少しの運動、自分が興味のあるスポーツからでも構いませんので積極的に取り組んでみましょう。また、スポーツを実際に「する」だけでなく「観戦」したりスポーツボランティアなどで「支え」たりすることもスポーツを身近なものにするためにはとても大切です。そういった術を高専の体育で身につけるとともに、ぜひ友人や家族を巻き込んで一緒にスポーツを楽しんでください。これからよろしくお願いします。



変わったもの、変わらないもの

商船学科

布目明弘先生

平成21年9月、私は「商船」の第2体育館で制帽を空高く投げつけました。あの日から10年以上が経ち、この度、教員として母校に戻るようになりました。帰ってきて強く感じるのは、学生時代と比べて「変わったもの」と「変わらないもの」があるということです。「変わったもの」の代表は、組織と環境です。潮気を感じない現在の学校名に少し寂しさを覚えますが、キャンパス間のテレビ会議システムや、早期の遠隔授業対応などは合併の歴史があったからこそのものであり、このような先進的な環境で働けることに喜びを感じています。一方、「変わらないもの」の代表は、学生です。私の同期らと比べると、ずいぶん大人しく真面目になった印象を受けています。しかし、若人ならではの純粋さなど本質的な部分は変わっておらず、無限の可能性を日々感じています。これからはそんな学生の皆さんの夢を応援する立場として、精一杯頑張ります。これからどうぞ、よろしくお願いします。



8年ぶりの高専

商船学科

関口直人先生

初めまして、4月から練習船若潮丸一等航海士に着任しました関口直人です。実は射水キャンパスの2012年の卒業生になります。海の無い埼玉県の出身ですが、乗り物が好きだったことや海への憧れがあつてこの学校に入学し、今の学生と同じように勉強や部活動といった青春を送っていました。卒業後は茨城と北海道を結ぶ航路や東京と北九州を結ぶ航路の旅客船の航海士として働いておりました。仕事としては主に航海当直(運転)がメインで、船の交通量が多い海域を何度も通ったり、様々な整備作業も行っていました。そんな生活を7年程送っていましたが、いろいろな縁があつてこの学校に戻って来ることになりました。8年ぶりに戻ってきたので少し不安もありましたが、在学中と変わっていない面も多々見受けられたので安心しました。これからは現場で培った知識や技術を生かして学生の指導にあたらうと考えております。皆様よろしくお願いします。

学校への連絡先

代表連絡先
欠席・遅刻の連絡
授業料免除・奨学金
課外活動
学生寮関係
FAXによる連絡

【本郷キャンパス】

〒939-8630 富山市本郷町13
TEL 076-493-5402 FAX 076-492-3859
教務課教務担当: TEL 076-493-5405
学生支援課
学生担当: TEL 076-493-3590
学寮担当: TEL 076-493-5499
上記共通 : FAX 076-493-5488

【射水キャンパス】

〒933-0293 射水市海老江練合1の2
TEL 0766-86-5100 FAX 0766-86-5110
教務課教務担当: TEL 0766-86-5145
学生支援課
学生担当: TEL 0766-86-5135
学寮担当: TEL 0766-86-5133
上記共通 : FAX 0766-86-5130



高専通信

商船学科卒業記念号 Vol.31 2020/9
富山高等専門学校広報誌

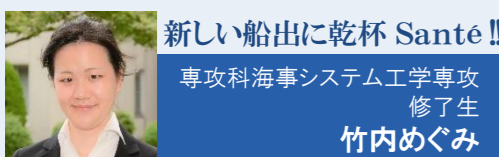
目次

- 1 修了生・卒業生から一言
- 2 修了生・卒業生の進路
- 3 学生会・寮生会・学寮会の紹介
- 4 新1年生から一言
- 5 新任教員あいさつ



海事システム工学専攻・商船学科 ご卒業おめでとうございます

専攻科海事システム工学専攻修了生から一言



新しい船出に乾杯 Santé!!
専攻科海事システム工学専攻
修了生
竹内めぐみ

7年半前に商船学科へ入学した時は、小学校よりも長い間学校へ通うことになるとは、思ってもいませんでした。7年半で多くのことを学び、経験し、人生の視野が広がりました。

特に専攻科へ入学してからのこの2年間は、様々な“新しい”経験をしました。数々の研究発表会への参加や、学会発表、また本年度は、新型コロナウイルスによる影響を受けてのリモートでの朝のHRや特別研究……個人的なところでは、新しい趣味が2つもできました。振り返ってみると、専攻科へ進学して本当に良かった、と思うことばかりです。

これから先、社会にでると、必ず失敗することもあるでしょう、寄り回り波のような大きな荒波が突如押し寄せてくることもあると思います。でも、そんな時にはこの学生生活で培ったことを活かし、風を切りながら颯爽と走り続けて、精進して参りたいと思います。最後になりましたが、7年半の間に関わった全ての皆さまへ、本当にありがとうございました。

商船学科卒業生から一言



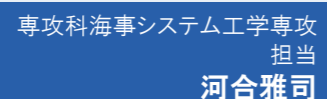
長い日々を終えて
商船学科
卒業生
平野将史

高専で5年半という月日を過ごしてきました。この長い歳月は人を成長させ、考え方を確立させ、今後自分の力で生き抜くための基盤を作るには十分な期間です。しかし、振り返ってみると、高専という場所、特に商船学科は、周りのサポートがあって全ての過程を終わらせることができる恵まれた環境であったと感じます。時には情けとも言い換えられるような助け舟に守られてきました。

しかし、社会に出たり、学びの場が変わったりすれば、今までの当たり前は通用せず、信用できるのは自分だけになるかもしれません。この高専生活で身につけたものの答え合わせが行われるようで今から不安でいっぱいですが、自分が経験してきたことや得た知識、誰かからもらった言葉はきっと自分の力になると思います。この5年半が自分の人生にとってどんなものであったかは今すぐには分かりませんが、少しでも良いものだったと思える未来が来ることを信じて、それぞれの道に歩きだしたいと思います。

海事システム工学専攻担当からお祝いのメッセージ

専攻科修了おめでとうございます



専攻科海事システム工学専攻
担当
河合雅司

2020年度専攻科海事システム工学専攻修了生の皆さん、専攻科修了誠におめでとうございます。皆さんが2013年4月に本校に入学して以来、7年半の歳月が経過しました。その間、勉強だけでなくカッターレース大会や北斗祭等多くの経験を通してたくさんの思い出ができたと思います。そして、皆さんは入学した時の夢を実現することはできたでしょうか？私は、1983年4月に、「波の研究を行う」という夢を持って本校に赴任し、37年以上が経過しました。途中、色々な困難に出会い苦労しましたが、自分がしたかった波の研究を十分させて頂き、自分の夢を実現できたと感じています。これも富山高等専門学校の皆様方のお陰であり、心から感謝しています。

皆さんは、それぞれの新しい道を新しい夢とともに歩み始めます。そして、荒波が押し寄せてくることもあり、大変だと思いますが、それを乗り越えて前進して下さい。そこには素晴らしい世界が待っているはずですよ。皆さんの新しい船出に乾杯！

商船学科実習生担任からお祝いのメッセージ

ご卒業おめでとうございます



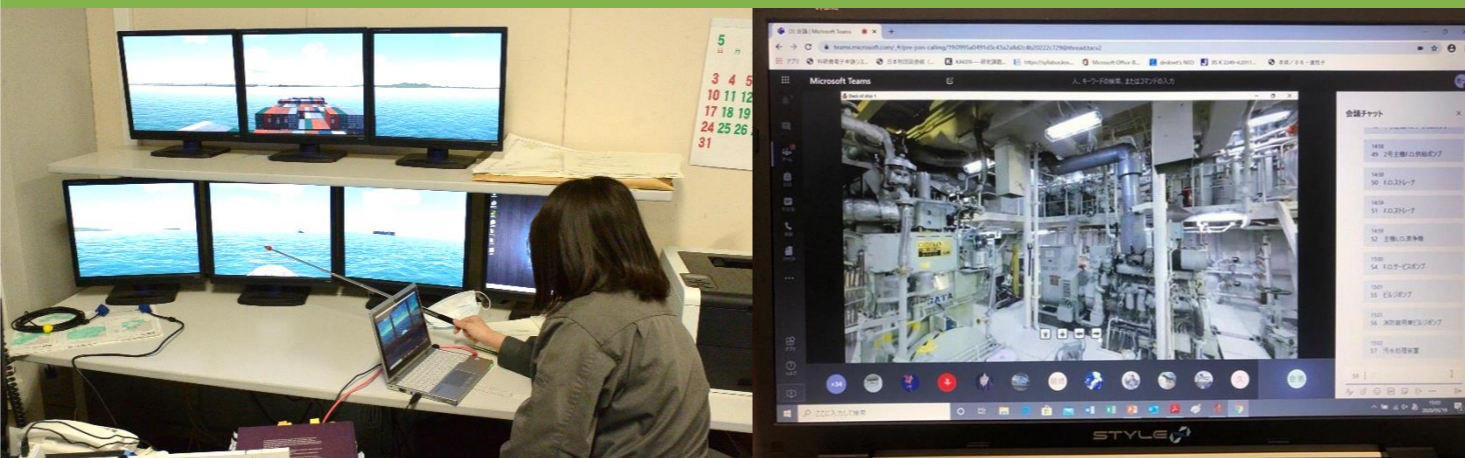
商船学科
実習生担任
西井典子

2016年の春、商船学科2年のHR時間に、教室の右後ろ端に立ち、副担任としてクラス全員の顔と名前を覚えようとしながら、一つのことを直感しました。このクラスを卒業まで担任するだろうということです。それから5年ほど担任として関わり、皆さんが毎日いろいろな表情を見せながら一年ごとに成長していき、頼もしくなったことを大変嬉しく思います。

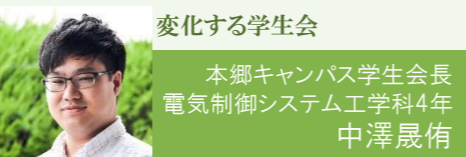
一つの節目を迎えて次のステップへ進む皆さんには、無限の可能性と未来があります。共に5年半を過ごしたクラスのメンバーとの繋がりや構築した人間関係を大切にしながら、自分なりに挑戦し、頑張ってください。学生生活のほか船で学んだ厳しさは、今後の社会で必ず役に立つと思います。真面目に働き、努力を惜しまず前に進めば、辛い壁であろうと乗り越えられるはずですよ。笑顔の絶えない人生を過ごしてください。



2020年4月、全ての授業がオンラインに

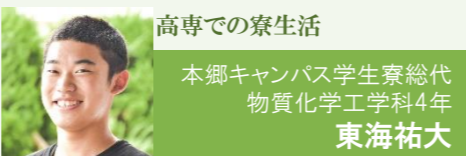


学生会・寮生会・学寮会の紹介



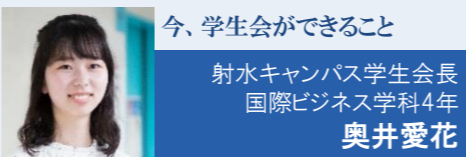
変化する学生会
本郷キャンパス学生会長
電気制御システム工学科4年
中澤晟侑

新型コロナウイルスの影響を受け、学生会活動も大きな変化を余儀なくされました。広報局が在宅授業期間中に発行した「たけのこ」(壁新聞)は、デジタル版で配信しました。学生の皆さんへの連絡も多くはTeamsを活用しています。またオンラインでのやりとりが増えたことで、両キャンパスの学生会も少し距離が近づいたように思います。この機会をうまく利用して学生会もよりよく変化できればと思います。富山高専での学生生活がより楽しいものとなるよう皆さんとともに頑張っていきたいと思っています。



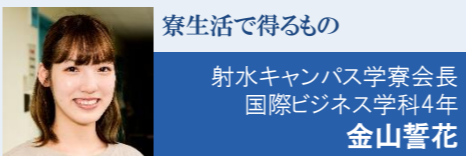
高専での寮生活
本郷キャンパス学生寮総代
物質化学工学科4年
東海祐大

高専での寮生活は貴重な体験であると僕は思います。その理由の一つとして、多くの人と関わりを持ち、絆を深めることがあげられます。一緒に生活するため他学科の人達と仲良くなることができ、学科を問わず遊んだり、勉強などを相談したりできます。また、寮には集団生活をするにあたってのルールがあるため、先生や先輩に挨拶したり、時間を守るというような規律ある生活を送ることで人間的に成長できます。今年は新型コロナウイルスの影響でうまくいかないことも多くありますが、充実した寮生活が送れるように尽力していきたいです。



今、学生会ができること
射水キャンパス学生会長
国際ビジネス学科4年
奥井愛花

オンライン期間中、学生の皆さん、特に1年生は不安だったでしょう。学生会として何とかしたいと思いましたが、新しい生活様式が求められる中で、できないことが増えています。それでも最大限できることをと考えて、Teamsを利用した部活動紹介やアンケート、オンラインでの一斉委員会などを実施しました。その中で学んだことは、「できない」を考えるのではなく「できる」を考えて行動することです。これからも、今、私たちができる活動を続け、来年に橋渡していきたいと思います。



寮生活で得るもの
射水キャンパス学寮会長
国際ビジネス学科4年
金山誓花

和寮は「自分のことは自分でやる」といった自主性から「他人のことを思いやる」気遣いまで、これからの人生で大切なことを学べる場所です。今年度と海寮には全国26都府県に加えて海外2か国出身の15歳から20歳までの様々な夢を持った学生が集まっています。多様な価値観を持った学生がいろいろな所から集まるので、ぶつかり合いやすれ違いも普通の高校生、大学生より多いかもしれません。そんなときと海寮が問題を乗り越え生きる力を与えてくれる場所になれば嬉しです。5年間同じ時間を過ごす友達、身近な存在である先輩後輩との思い出は一生の財産になると思います。

本郷キャンパス 新1年生から一言



Indomitable spirit (不撓不屈の精神)
本郷キャンパス
第1学年1組
高田颯

入学して夢への第一歩を踏み出したと思った途端、コロナ禍による遠隔授業の開始に戸惑うこともありましたが、高専の学習環境の良さを実感できました。課題やPCでの作業は大変ですが、仲間と互いに助け合いながら充実した学校生活を楽しんでいます。

私の夢は、実践的で専門的な工学を高専で学び、大学で学問をより深め、社会貢献できるエンジニアになることです。夢のために、5年間、不撓不屈の精神で日々を大切に、意識を高く保ち学生生活を送りたいです。



夢に向かって……
本郷キャンパス
第1学年2組
若林歩実

念願だった富山高専に入学し3か月、私はとても充実した学校生活を送っています。入学当初は何もわからない状態のまま遠隔授業が始まり不安や戸惑いが多ありましたが、徐々に高専生の一員になったのだと感じられるようになりました。6月に入ってからは対面授業も始まって本来の生活に戻りつつあり、予習復習と大変な毎日ですが、高専という恵まれた環境の中で自分の夢を形にするため、これからの5年間精一杯努力し続けたいと思います。



高専生になって
本郷キャンパス
第1学年3組
草島朱音

私は、高専に入学してすぐに遠隔授業が始まったことで、高専のみならず関わる機会が減ってしまい、友達関係が少し不安でした。しかし、登校が再開され、日が経つごとにみんなの会話が増え、クラスの雰囲気明るくなっていきました。

今は授業で分からないところをお互いに教え合い、協力できるクラスになっていて、これからの高専生活がとても楽しみです！

射水キャンパス 新1年生から一言



夢を忘れず
射水キャンパス
第1学年4組
門口天舞

入学早々遠隔授業となり、思い描いていた高専生活とは違うスタートになりました。このような状況の中でも学びを継続できたことや、対面授業が再開できたことに感謝しています。一般科目に加えて専門科目の勉強、部活動などで大変ですが、その充実した高専生活を送れています。

私は英語だけでなく、第二外国語も習得し、語学のエキスパートになりたいという夢をもって高専に入学しました。これからもその夢や目標を忘れることなく、将来のために努力していきたいと思っています。新しく出会ったクラスメイトや教官たちから良い刺激をもらいながら成長していきたいです。



試練を超えて
射水キャンパス
第1学年5組
久保海人

富山高専に入学して数か月が経ち、今は充実した高専生活を過ごしています。今年は新型コロナウイルスの影響でクラスメイトと1か月半以上も顔を合わせることができませんでしたが、商船学科の持ち味の明るさと元気のよさで、今では休み時間は笑い声の絶えないクラスになりました。勉強面では中学校のときと比べ、科目が増え、質量も濃くなって大変ですが、個性的なクラスメイトと教官方を頼りに、粘り強く取り組んでいきます。



苦難の半年間
射水キャンパス
第1学年6組
飯塚優斗

これまでの半年間は世界的にも、また自分の中でもこれまでにない期間でした。入学してわずか1週間で遠隔授業へと切り替わり、多くの予定されていたイベントが中止されてしまいました。しかし、わずか1週間で富山高専で遠隔授業の環境構築が完了したことには、それ以上の驚きがありました。そのおかげもあり、対面授業再開後もほぼ予定通りの進捗で学習を進めることができ安心しました。しかし一方で自粛期間中に蓄積した運動不足や、失ってしまった交友の機会などを取り戻すのには今なお苦戦してしまいます。今後は新しい生活様式に慣れつつ、交友関係を広め、実りのある学校生活を送るようにしたいです。



新しい生活様式へ